

平成25年

研修・訪問先

- ①JA菊池(熊本県)
- ②長崎ハウステンボス(長崎県)
- ③日高農園・富士通九州システムズ(福岡県)
- ④福岡農業協同組合中央会(福岡県)
- ⑤JA糸島市「伊都菜彩」(福岡県)

【期間】平成25年12月9日～12日、3泊4日

【出席者】青年部:東海林理事、小野理事、須河監事
 女性部:川岸副部長、星加理事、河野理事
 フレミズ:坂下理事、米森理事、森谷監事



JA女性部で課題とされている高齢者福祉事業(介護事業)を先進的に取り組むJA菊池で、取り組み経緯や事業内容、組合員の利用実態と現状課題について伺う。

長崎ハウステンボスでは、フラワーロードとアートガーデンを見学。

IT技術を導入した胡蝶蘭栽培施設の日高農園を訪問し、富士通九州システムズで共同開発したスマートフォン端末管理ツールを利用し、遠隔施設管理システムを現地視察。

JA福岡中央会では、女性農業者の正組合員加入促進活動を積極的に行ったJAの事例を学び、女性組織の共通課題について意見交換を行った。

最終日には九州最大のJA直売所「伊都菜彩」を見学。





JAきたみらい 青年部

	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	
執行部	総会	連絡協議会 設立	設立総会	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
	部長	小野 俊浩 (北見)	小野 俊浩 (北見)	竹中 義博 (端野)	大邑 和治 (温根湯)	井上 一味 (置戸)	田中雄二郎 (訓子府)	村上 孝幸 (留辺蘂)	長山 和弘 (上常呂)	中村 圭一 (相内)	佐藤 正人 (北見)	荒 喜文 (留辺蘂)	米森 弘 (北見)
	副部長	矢田目孝裕 (相内)	矢田目孝裕 (相内)	大槻 尚浩 (置戸)	荒 伸一 (留辺蘂)	五十嵐 亨 (端野)	田中 圭 (相内)	上野 雅美 (上常呂)	八木沼朋紀 (北見)	奥山 拓博 (置戸)	児玉 涉 (温根湯)	森谷 祐樹 (相内)	小山 勇樹 (置戸)
		竹中 義博 (端野)	竹中 義博 (端野)	長山 正吉 (上常呂)	下地 英俊 (訓子府)	榎本 徹 (上常呂)	黒須 友和 (北見)	本條 康浩 (温根湯)	井上 貴博 (端野)	岡田 啓伸 (訓子府)	北川 卓也 (端野)	川畑 師和 (上常呂)	須河 岐文 (訓子府)
監事	大槻 尚浩 (置戸)	大槻 尚浩 (置戸)	大邑 和治 (温根湯)	黒須 友和 (北見)	黒須 友和 (北見)	上野 雅美 (上常呂)	中村 圭一 (相内)	児玉 涉 (温根湯)	児玉 涉 (温根湯)	荒 喜文 (留辺蘂)	須河 岐文 (訓子府)	坂下 修一 (留辺蘂)	
	須河 和紀 (訓子府)	須河 和紀 (訓子府)	荒 伸一 (留辺蘂)	五十嵐 亨 (端野)	蔵重 則和 (温根湯)	五十嵐 務 (端野)	八木沼朋紀 (北見)	渡辺 琢磨 (留辺蘂)	渡辺 琢磨 (留辺蘂)	福井 慎一 (北見)	米森 弘 (北見)	小野 博之 (相内)	
支部長(理事)	温根湯	岩瀬 賢一	岩瀬 賢一	大邑 和治	蔵重 則和	蔵重 則和	本條 康浩	森谷 淳治	児玉 涉	児玉 涉	東海林 健	東海林 健	福田 政行
	留辺蘂	茂住 修二	茂住 修二	荒 伸一	飯田 和浩	飯田 和浩	村上 孝幸	井上 光夫	渡辺 琢磨	渡辺 琢磨	荒 喜文	坂下 修一	坂下 修一
	置戸	石村 博樹	石村 博樹	松本 英一	井上 一味	布田 透	森谷 弘二	安藤 正文	奥山 拓博	佐藤 猛	渡辺健太郎	小山 勇樹	中川 隆
	訓子府	田中 雄一	田中 雄一	下地 英俊	下田 茂樹	田中雄二郎	牧嶋 重雄	黒河 潤	岡田 啓伸	岡崎 和久	大畑 圭吾	須河 岐文	佐々木利治
	相内	真田 肇	真田 肇	高橋 秀幸	高橋 秀幸	田中 圭	中村 圭一	中村 圭一	中村 圭一	森谷 祐樹	森谷 祐樹	小野 博之	小野 博之
	上常呂	長山 正吉	長山 正吉	角田 大造	榎本 徹	上野 雅美	上野 雅美	長山 和弘	今田 佳友	今田 佳友	川畑 師和	景政 大雄	福井 啓之
	北見	小笠原輝美	小笠原輝美	小笠原輝美	黒須 友和	黒須 友和	八木沼朋紀	八木沼朋紀	佐藤 正人	佐藤 正人	福井 慎一	米森 弘	
	端野	加藤 貴善	加藤 貴善	縦山 馨	五十嵐 亨	加藤 健治	五十嵐 務	井上 貴博	寒河江直大	北川 卓也	岡野 拓弥	赤塚 洋介	小林 章三
部員数	323	346	349	344	341	345	348	358	360	358	328	314	

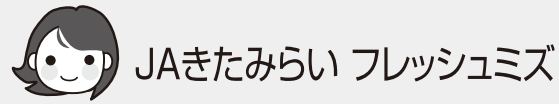
※平成15年度は連絡協議会の役員で、三役の役職名は会長、副会長



JAきたみらい 女性部

	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	
執行部	総会	連絡協議会 設立	設立総会	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
	部長	渡辺 茂子 (置戸)	坂下 恵子 (留辺蘂)	五十嵐真知子 (端野)	福井 幸子 (北見)	清井久美子 (訓子府)	戸田富美子 (北見)	吉田 和子 (上常呂)	貝沼 輝美 (端野)	上原由紀子 (訓子府)	斉藤のり子 (置戸)	斉藤のり子 (置戸)	斉藤のり子 (置戸)
	副部長	所 好恵 (訓子府)	井上二美子 (端野)	土橋 博美 (上常呂)	菅原 征子 (端野)	山下 隆子 (温根湯)	高城 美恵 (訓子府)	高城 美恵 (訓子府)	山崎ゆかり (北見)	山崎ゆかり (北見)	黒須 倫子 (北見)	黒須 倫子 (北見)	齊藤 晴美 (訓子府)
		椀山由紀子 (端野)	中村美智子 (相内)	本田ゆかり (置戸)	森谷 道子 (温根湯)	福井小夜美 (北見)	大武 豊子 (相内)	中尾のぶ子 (置戸)	大林 法子 (上常呂)	荒 えみ子 (留辺蘂)	西森美代子 (訓子府)	川岸 啓子 (相内)	黒須 倫子 (北見)
監事	坂下 恵子 (留辺蘂)	吉井 尋子 (訓子府)	荒 えみ子 (留辺蘂)	小建登美子 (置戸)	戸田富美子 (北見)	羽馬 恵子 (温根湯)	岡田 友子 (温根湯)	嘉藤 常子 (置戸)	吉田まゆみ (相内)	永江美貴子 (温根湯)	井上 峰子 (北見)	山梨 則子 (温根湯)	
	石井加代子 (温根湯)	石井加代子 (温根湯)	福井 幸子 (北見)	合田多美子 (上常呂)	木村 陵子 (端野)	橘 佳子 (留辺蘂)	加藤 成子 (留辺蘂)	森谷恵美子 (相内)	大林 明美 (上常呂)	川岸 啓子 (相内)	杉本千恵子 (端野)	橘 佳子 (留辺蘂)	
支部長(理事)	温根湯	石井加代子	石井加代子	森谷 道子	山下 隆子	牧野 千代	羽馬 恵子	岡田 友子	菅原 玉緒	仁義 直子	永江美貴子	牧野 千代	山梨 則子
	留辺蘂	坂下 恵子	荒 えみ子	荒 えみ子	高井 直子	今部 幸江	橘 佳子	加藤 成子	荒 えみ子	春木 君枝	春木 君枝	飯田恵津子	橘 佳子
	置戸	本田ゆかり	本田ゆかり	片桐 陽子	小建登美子	酒井美和子	中尾のぶ子	篠木ヒサ子	嘉藤 常子	斉藤のり子	中澤ひさ子	東海林静子	有馬 郁子
	訓子府	吉井 尋子	吉井 尋子	山本 恵子	清井久美子	高城 美恵	河合 直子	木村 裕美	上原由紀子	西森美代子	相馬 真弓	齊藤 晴美	林 比呂子
	相内	中村美智子	丸子由美子	中山 恵子	長谷川真弓	大武 豊子	岩崎美智世	吉村真佐子	森谷恵美子	吉田まゆみ	川岸 啓子	星加 智子	森谷美佐江
	上常呂	荒木 貞子	土橋 博美	合田まゆみ	合田多美子	西原寿美子	吉田 和子	大林 法子	長部 節子	大林 明美	木村 芳江	河野由美子	合田 明子
	北見	橋本 明子	福井 幸子	福井 幸子	福井小夜美	戸田富美子	作田 敏子	山崎ゆかり	福井 利子	黒須 倫子	竹下 弘子	井上 峰子	和田 祥子
	端野	井上二美子	五十嵐真知子	菅原 征子	宮下 正子	木村 陵子	長谷川美子	貝沼 輝美	武田喜美江	関本久美子	田中 明美	杉本千恵子	山腰 育子
部員数	850	592	569	532	502	456	426	393	364	335	304	284	

※平成15年度は連絡協議会の役員で、三役の役職名は会長、副会長



	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	
総会	連絡協議会 設立	設立総会	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
会長	寺崎 淳子 (端野)	萬城 一葉 (上常呂)	平野美香子 (留辺薬)	小林としみ (相内)	本條 幸恵 (温根湯)	西若かおり (北見)	下田裕美子 (訓子府)	吉田 美穂 (端野)	森谷 裕美 (温根湯)	菅野あけみ (訓子府)	穴田 優子 (上常呂)	坂下あゆみ (留辺薬)	
執行部 副会長	大邑 法子 (温根湯)	柏原千恵子 (置戸)	佐藤真美子 (訓子府)	重富小百合 (端野)	飯田 弥生 (留辺薬)	島貫 昌代 (訓子府)	西原 美樹 (上常呂)	高橋 宏子 (温根湯)	長山 寿恵 (上常呂)	村上 郁恵 (留辺薬)	安西 千春 (置戸)	米森こず恵 (北見)	
	酒井 礼子 (上常呂)	小川美代子 (北見)	佐伯真由美 (北見)	角田 優子 (上常呂)	加藤美由起 (端野)	桜井恵里子 (端野)	奥村 理恵 (北見)	今田 恵 (上常呂)	西原真知子 (北見)	黒須 美保 (北見)	中西 智子 (訓子府)	渡邊 美和 (置戸)	
監事	堺 敦子 (置戸)	平野美香子 (留辺薬)	森谷 直子 (温根湯)	井上美代子 (置戸)	大和谷由理 (置戸)	大和谷由理 (置戸)	飯田 美樹 (相内)	飯田 弥生 (留辺薬)	水野 和美 (温根湯)	遠藤多美子 (留辺薬)	森谷 美生 (相内)	大丸美喜子 (上常呂)	
	川岸美奈子 (相内)	佐藤真美子 (訓子府)	小林としみ (相内)	小笠原かおる (北見)	西若かおり (北見)	奥村 理恵 (北見)	今田 恵 (上常呂)	西原真知子 (北見)	黒須 美保 (北見)	不破 美絵 (相内)	上野さち子 (上常呂)	丸本 有香 (端野)	
支部長 (理事)	温根湯	稲田 静枝	蔵重 晴美	森谷 直子	本條 幸恵	森谷 亜紀	下込 祐美	高橋 宏子	森谷 裕美	水野 和美	下込 祐美	山上 志和	児玉 香織
	留辺薬	山田真由美 多田 和子	平野美香子	太田 弘美	飯田 弥生	国井 真理	庄司 明美	荒 佳奈子	飯田 弥生	村上 郁恵	遠藤多美子	坂下あゆみ	庄司 明美
	置戸	柏原千恵子	岩村 幸子	大槻由紀江	井上美代子	大和谷由理	大和谷由理	井上 幸恵	森谷 ヲカ	大矢 知美	安西 千春	渡邊 美和	森脇 由記
	訓子府	関谷久美子 渡辺 法子	佐藤真美子	会田かおり	太田 陽子	島貫 昌代	下田裕美子	斉藤 麗紗	佐々木暁子	菅野あけみ	中西 智子	藤森 彩	佐藤 亜弓
	相内	妻鳥 洋子	伊藤 智裕	小林としみ	矢田目明美	中村 洋子	中村千恵子	飯田 美樹	高橋知江美	松井 美幸	不破 美絵	森谷 美生	小野 剛美
	上常呂	萬城 一葉	中塚 裕己	角田 優子	角田みゆき	熊野 亜紀	西原 美樹	今田 恵	長山 寿恵	吉田由利香	穴田 優子	上野さち子	大丸美喜子
	北見	竹中 悦子 小川美代子	佐伯真由美	小野 里美	小笠原かおる	西若かおり	奥村 理恵	山田 真紀	西原真知子	黒須 美保	中嶋 里美	米森こず恵	西島 由華
	端野	菊地 澄子	富樫 明美	重富小百合	加藤美由起	桜井恵里子	北川 明美	吉田 美穂	塚本 智明	縦山久美子	五十嵐里香	間村 絵美	丸本 有香
部員数	219	211	191	183	193	185	181	174	166	171	147	127	





第 1 章 総 則

第 1 条 (名 称)

この組織は、きたみらい農業協同組合青年部(略称・JAきたみらい青年部)と称する。

第 2 条 (目 的)

この組織は農業協同組合の強化発展を期するため、農業協同組合運動推進に関する啓蒙実践及び部員相互の融和協調を図るとともに、農家経営の発展、さらに農業の社会的、経済的地位の向上を図ることを目的とする。

第 3 条 (事 業)

この組織は第2条の目的達成のため、下記の事業を行なう。

1. 農協事業の推進と発展強化に関する事項
2. 農政問題に関する調査研究
3. 農業青年教育と学習に関する事項
4. 生活文化厚生に関する事項
5. 会員相互の協調と親睦を図る事項
6. 青年部の発展的な組織化に関する事項
7. その他、目的達成に必要な事項

第 2 章 部員及び役員

第 4 条 (構 成)

この組織の部員は、JAきたみらいの地域内において農業に従事する青年で、本青年部の目的に賛同する者をもって構成する。

第 5 条 (部員の加入・脱退)

この組織に加入又は脱退する部員は、加入又は脱退届を部長に提出しなければならない。

第 6 条 (役 員)

1. この組織に役員として部長1名、副部長2名、理事5名、監事2名の10名を置く。
2. この組織の役員として各支部の支部長、あるいは支部長と同等の権限を有した副支部長8名は、理事(5名)及び監事(2名)に就任し、その選出は互選とする。
3. 部長1名、副部長2名は、任期を以って退任する理事及び監事から協議選出し、総代会において決する。
4. 支部の役員は、支部規程に基づき置くものとし、支部役員会等において決する。

第 7 条 (任 務)

部長はこの組織を代表し、業務の執行の責に任ずる。副部長は部長を補佐し、部長事故あるときは職務を代行する。理事は組織遂行にあたり、監事は組織の監査にあたる。

支部長は支部を代表し、業務執行の責に任ずる。その他支部役員は支部規程に基づき業務遂行にあたる。

第 8 条 (任 期)

本部役員の任期は1年とする。但し、再任は妨げない。欠員補充によって就任した役員は、前任役員の残任期間とする。

支部役員の任期は、支部規程によるものとする。

第 3 章 組 織

第 9 条 (組 織)

この組織は、事業の円滑なる運営と推進を積極的に進めるために支部を置き、次の7支部により構成する。

1. 温根湯支部、留辺蘂支部、置戸支部、訓子府支部、相内支部、北見支部、端野支部
2. 各支部は本青年部として統一的な活動を展開するとともに、自主的な活動も併せて行なう。
3. 支部の運営に関する事項は各支部の自主性に委ね、支部ごとに定めるものとする。

第 4 章 総 会

第 10 条 (総代会)

この組織の総会は、定期総代会及び臨時総代会とする。

1. 定期総代会は、毎年2月にこれを行なう。
2. 臨時総代会は部長が必要と認めたととき及び部員の3分の1以上の要請がある場合これを開く。
3. 総代会は、各支部の総代員をもって構成する。
4. 総代会は代議員の2/3以上の出席をもって成立する。
5. 各支部において、活動報告会を開催することとし、少なくとも総代会前には終了しているものとする。

第 11 条 (総代構成)

1. 総代会は各支部の事業年度末の部員数で、下表に基づき、代議員とする。

支 部 部員数	20人 以下	21～ 30人	31～ 40人	41～ 50人	51～ 60人	61～ 70人	71～ 80人	81～ 90人	91～ 100人
代議員	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人	12人	13人

2. 総代の任期は1年とし、再選は妨げない。
3. 総代は各支部で選任し、事務局に名簿を提出する。
4. 総代で欠員が生じた場合は、各支部で補充する。

第 12 条 (議決事項)

次の事項は総代会の議決を得なければならない。

1. 規約の制定並びに変更
2. 会費の賦課及び徴収方法
3. 毎事業年度計画及び収支予算の設定並びに変更
4. 毎事業年度事業報告及び決算の承認
5. 役員の選任
6. その他必要と認められた事項

第 13 条 (議 事)

1. 総代会における議決権は各代議員1個とし、議決は出席代議員の過半数をもって決する。
可否同数のときは議長が決する。
2. 議長は総代会において、役員以外から選出する。
3. 代理人(委任状)をもって議決権を行なう者は、これを出席者とみなす。

第 5 章 会 議

第 14 条 (会 議)

この組織の会議は次の通りとする。

1. 三役会議、役員会、支部長会議
2. いずれの会議も必要のつど部長が召集し、本組織の執行について協議する。
但し、理事の3分の1以上の要求があった場合は、臨時に開くことができる。
3. 全ての会議の議長は、部長がこれにあたる。
4. 支部に係る会議については、支部規程に基づきこれを開く。

第 6 章 事 務 局

第 15 条 (事務局)

この組織の事務局をきたみらい農業協同組合に置く。

1. 本部に事務局長1名、事務局員1名を置く。
2. 各支部に支部事務局員を置く。

第 7 章 会 計

第 16 条 (会 計)

この組織の経費は部員の会費、事業収入、寄付金、助成金、その他収入をもってこれにあてる。

1. 事業年度は2月1日に始まり、翌年1月末日に終る。

附 則

この規約は平成16年2月19日より施行する
この規約は平成17年2月10日より施行する
この規約は平成22年2月22日より施行する
この規約は平成24年2月18日より施行する
この規約は平成25年2月17日より施行する
この規約は平成26年2月22日より施行する



第 1 章 総 則

第 1 条 (名 称)

この組織はきたみらい農業協同組合女性部(略称JAきたみらい女性部)と称する。

第 2 条 (目 的)

この組織は部員が協力してJAの事業を中心に、女性の地位向上と生活の合理化を図り、住みよい豊かな地域社会づくりと共に部員相互の親睦を図ることを目的とする。

第 3 条 (事 業)

この組織は第2条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 部員相互の連絡親睦に関する事項
2. 部員の協同意識の昂揚に関する事項
3. 農協事業の推進に関する事項
4. 部員の文化教養並びに生活改善に関する事項
5. その他目的達成に必要な事項

第 2 章 部員及び役員

第 4 条 (構 成)

この組織の部員は、JAきたみらい管内の区域内に在る女性で、本女性部の目的に賛同する者をもって構成する。
なお、年齢制限は、特に定めないものとする。

第 5 条 (部員の加入・脱退)

この組織に加入又は脱退しようとする部員は、加入又は脱退届を部長に提出しなければならない。

第 6 条 (役 員)

1. この組織に役員として部長1名、副部長2名、理事6名、監事2名の11名を置く。
2. この組織の役員として各支部の支部長8名は、理事(6名)及び監事(2名)に就任し、その選出は互選とする。
3. 部長1名、副部長2名は、任期を以って退任する理事及び監事から協議選出し、総代会において決する。
4. オホーツク地区役員へ選出要請ある時は、部長1名、副部長2名の協議により、1名が本組織の代表として選出する。但し、協議方法は部長1名と副部長2名に一任するものとする。
5. 支部の役員は、支部内規程の通り置くものとし、支部役員会等において決する。

第 7 条 (任 務)

1. 部長は組織を代表し、業務執行の責に任ずる。
副部長は部長を補佐し部長事故あるときはその職務を代行する。
理事は部長、副部長を補佐し業務の執行に当る。監事は本部会計を監査する。
2. 支部長は支部を代表し支部業務執行の責に任ずる。
副支部長は支部長を補佐し支部長事故あるときはその職務を代行する。
支部監事は支部会計を監査する。

第 8 条 (任 期)

役員任期は1年とする。但し、再選は妨げない。
欠員補充によって就任した役員は前任役員の残任期間とする。

第 9 条 (顧問・参与)

この組織には、顧問、参与を若干名置くことができる。

第 3 章 組 織

第 10 条 (組 織)

この組織は、事業の円滑なる運営と推進を積極的に進めるために支部を置き、次の8支部により構成する。

1. 温根湯支部、留辺蘂支部、置戸支部、訓子府支部、相内支部、上常呂支部、北見支部、端野支部
2. 各支部は本女性部として統一的な活動を展開するとともに、自主的な活動も併せ行う。
3. 支部の運営に関する事項は各支部の自主性に委ね、支部ごとに協議し行なうものとする。

第 4 章 機 関

第 11 条 (総代会)

この組織は総会に代わる総代会を設ける。

1. 総代会は、この組織の最高決議機関である。
2. 部長は毎年1回2月に通常総代会を招集する。
但し、次の場合は臨時総代会を開くことができる。
イ. 役員会が必要と認めるとき
ロ. 部員がその2分の1以上の同意を得て総代会の招集を請求したとき
3. 総代会は、各支部の代議員をもって構成する。
4. 総代会は代議員の2/3以上の出席をもって成立する。
5. 各支部において支部活動報告会を開催することとし、その資料を総代会前に事務局に提出することとする。

第 12 条 (総代構成)

1. 総代会は各支部の事業年度末の部員数で、下表に基づき、代議員とする。

支部 部員数	20人 以下	21～ 30人	31～ 40人	41～ 50人	51～ 60人	61～ 80人	81～ 100人	101～ 120人
代議員	3人	5人	6人	8人	9人	11人	12人	13人

2. 代議員の任期は1年とし再選を妨げない。
3. 代議員は各支部で選任し、事務局に名簿を提出する。
4. 代議員で欠員が生じた場合は、各支部で補充する。

第 13 条 (議決事項)

次の事項は総代会の議決を得なければならない。

1. 規約の変更
2. 会費の賦課及び徴収方法
3. 毎事業年度計画、収支予算の設定変更
4. 毎事業年度事業報告及決算の承認
5. 役員を選任
6. その他必要と認めた事項

第 14 条 (議 事)

1. 総代会に於ける議決権は各代議員1箇とし、議決は出席代議員の過半数を以て決する。
可否同数のときは、議長が決定する。
2. 議長は総代会において、役員以外から選出する。
3. 代理人(委任状)を以て議決権を行う者はこれを出席者とみなす。

第 5 章 役 員 会

第 15 条 (役員会)

役員会は部長がこれを招集し、下記事項を付議する。

1. 総代会に関する事項
2. この部の業務執行に関する事項
3. その他必要なる事項
役員会の議長は、部長がこれにあたる。

第 6 章 事 務 局

第 16 条 (事務局)

この組織の事務局をきたみらい農業協同組合に置く。

1. 本部に事務局長1名、事務局員1名を置く。
2. 各支部に支部事務局員を置く。



第 7 章 会 計

第 17 条 (会 計)

1. この組織の事業年度は2月1日に始まり翌年1月末日に終る。
2. 経費は部員会費等の負担金、寄付金、助成金、その他収入による。

附 則

この規約は、平成16年3月 3日から施行する。

この規約は、平成20年2月21日から施行する。

この規約は、平成22年2月25日から施行する。

この規約は、平成23年2月24日から施行する。

この規約は、平成24年2月15日から施行する。

この規約は、平成25年2月17日から施行する。

第 1 章 総 則

第 1 条 (名 称)

この組織は、きたみらい農業協同組合フレッシュミズ(略称JAきたみらいフレッシュミズ)と称する。

第 2 条 (目 的)

この組織は、会員が協力してJAの事業を中心に、農村女性の地位向上と生活の合理化を図り、住みよい豊かな農村を建設すると共に加盟会員相互の親睦と交流を図ることを目的とする。

第 3 条 (事 業)

この組織は、第2条の目的を達成するため次の事業を行なう。

1. 会員相互の親睦と交流に関する事項
2. 会員の協同意識の昂揚に関する事項
3. 農協事業の推進に関する事項
4. 会員の文化教養並びに生活改善に関する事項
5. その他目的達成に必要事項

第 2 章 部員及び役員

第 4 条 (構 成)

この組織の会員は、JAきたみらい管内の区域内に在する女性で、本フレッシュミズの目的に賛同する者をもって構成する。

なお、年齢制限は、特に定めないものとする。

第 5 条 (部員の加入・脱退)

この組織に加入又は脱退しようとする会員は、加入又は脱退届を会長に提出しなければならない。

第6条（役員）

1. この組織の役員として会長1名、副会長2名、理事6名、監事2名の11名を置く。
2. この組織の役員として各支部の支部長は、理事(6名)及び監事(2名)に就任し、その選出は互選とする。
3. 会長1名は、任期を以って退任する理事6名と監事2名による協議によって選出し、選出された会長は、副会長2名を指名することが出来る。
但し、協議選出方法は理事6名と監事2名に一任するものとする。
尚、3項によって選出された3名の三役は総代会において決する。
4. 支部の役員は、支部内規程の通り置くものとし、支部役員会等において決する。

第7条（任務）

1. 会長は組織を代表し、業務執行の責に任ずる。
副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
理事は会長、副会長を補佐し業務の執行にあたる。監事は本部会計を監査する。
2. 支部長は支部を代表し支部業務執行の責に任ずる。
副支部長は支部長を補佐し支部長事故あるときはその職務を代行する。
支部監事は支部会計を監査する。

第8条（任期）

役員の任期は1年とする。欠員補充によって就任した役員は前任役員の残任期間とする。

第9条（顧問・参与）

この組織には顧問、参与を若干名置くことができる。

第3章 組 織

第10条（組織）

この組織は、事業の円滑なる運営と推進を積極的に進めるために支部を置き、次の8支部により構成する。

1. 温根湯支部、留辺蘂支部、置戸支部、訓子府支部、相内支部、上常呂支部、北見支部、端野支部
2. 各支部は本フレッシュミズとして統一的な活動を展開するとともに、自主的な活動も併せ行なう。
3. 支部の運営に関する事項は各支部の自主性に委ね、支部ごとに協議し行うものとする。

第4章 機 関

第11条（総代会）

この組織は総会に代わる総代会を設ける。

1. 総代会は、この組織の最高決議機関である。
2. 会長は毎年1回 2月に通常総代会を招集する。
但し、次の場合は臨時総代会を開くことが出来る。
イ. 役員会が必要と認めるとき
ロ. 会員が2分の1以上の同意を得て、総代会の招集を請求したとき。
3. 総代会は、各支部の代議員をもって構成する。
4. 総代会は代議員の2/3の以上の出席をもって成立する。
5. 各支部において支部活動報告会を開催する事とし、その資料を総代会前に本部に提出する事とする。

第12条（総代構成）

1. 総代会は各支部の事業年度当初の会員数で、3名に対して1名の代議員とし、端数は切り捨てとする。
2. 総代の任期は1年とし、再選を妨げない。
3. 総代は各支部で選任し、事務局に名簿を提出する。
4. 総代で欠員が生じた場合は各支部で補充する。

第13条(議決事項)

次の事項は総代会の議決を得なければならない。

1. 規約の変更
2. 会費の賦課及び徴収方法
3. 毎事業年度計画、収支予算の設定変更
4. 毎事業年度事業報告及び決算の承認
5. 役員を選任
6. その他必要と認められた事項

第14条(議 事)

1. 総代会に於ける議決権は各代議員1箇とし、議決は出席代議員の過半数を以って決する。
可否同数のときは議長が決定する。
2. 議長は総代会において、役員以外から選出する。
3. 代理人(委任状)を以って議決権を行う者は、これを出席者とみなす。

第15条(役員会)

役員会は会長がこれを招集し、下記事項を付議する。

1. 総会に関する事項
2. この会の業務執行に関する事項
3. その他必要なる事項
役員会の議長は、会長がこれにあたる。
4. 支部役員会等の会議は支部長がこれを招集し、支部業務執行に関する事項等について協議する。
なお、この会議の議長は支部長がこれにあたる。

第 6 章 事 務 局

第16条(事務局)

1. この組織の事務局をきたみらい農業協同組合に置く。
2. 本部に事務局長1名、事務局員1名を置く。
3. 各支部に支部事務局員を置く。

第 7 章 会 計

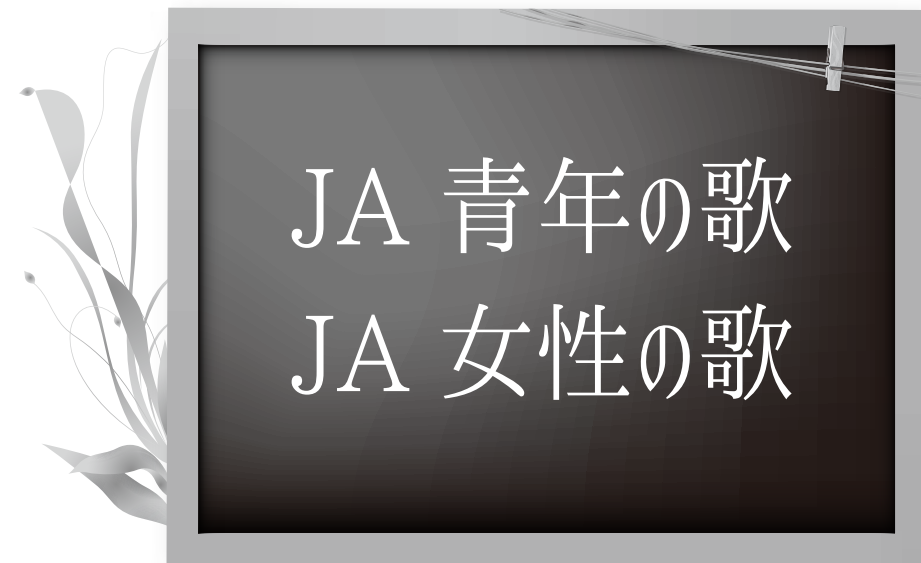
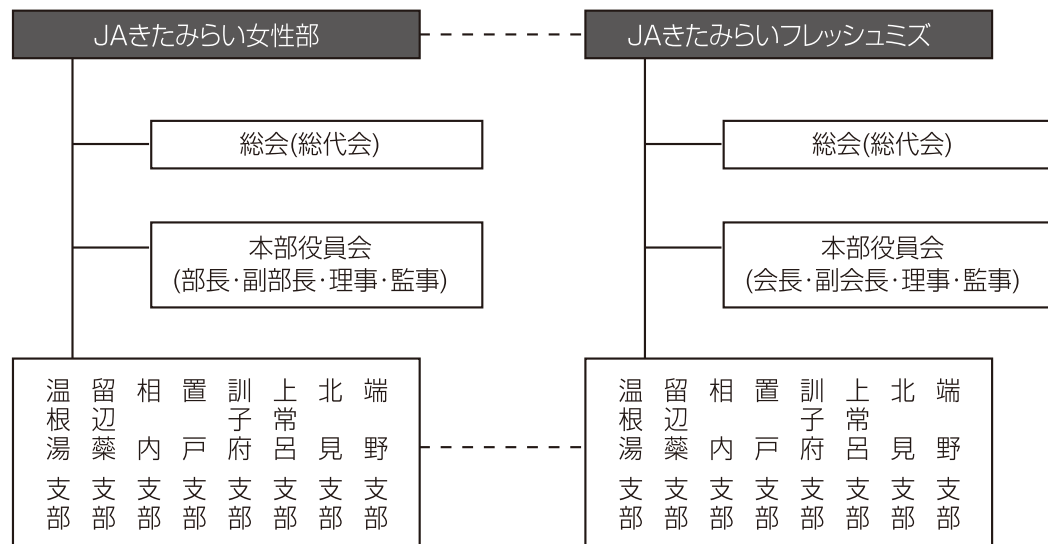
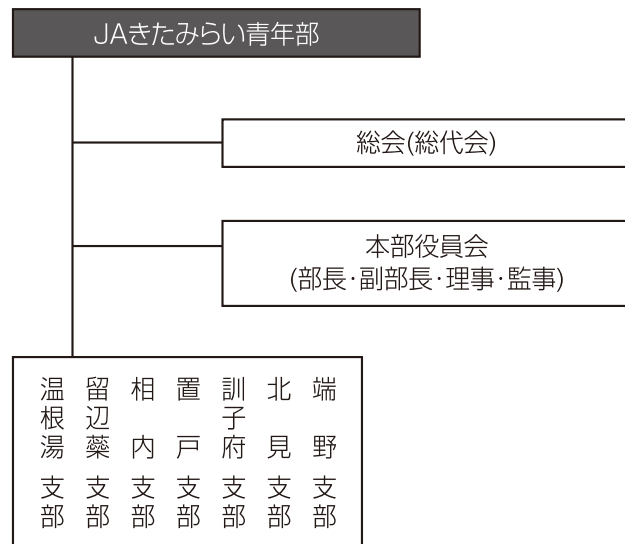
第17条(会 計)

1. この組織は事業年度2月1日に始まり翌年1月末日に終る。
2. 経費は会費、助成金、寄付金、その他収入による。

附 則

この規約は、平成16年2月12日から施行する。
この規約は、平成19年2月 6日から施行する。
この規約は、平成22年2月10日から施行する。
この規約は、平成23年2月 8日から施行する。
この規約は、平成24年2月15日から施行する。

JAきたみらい外郭組織 機構図





JA 青年の歌

JA青年の歌 君と

作詞:一色 薫
作曲:千葉一弘
編曲:矢野立美

Musical score for 'JA Youth Song: With You'. Includes staves A, B, and C with lyrics: はらかな あおぞらー きみとかわす ほほえみよー つばさひろげ とび たつように この おもい たかまっぺー おそれることなく ときをこえる きみとともに ゆめをもとめ かたりにあかした せいしゅんはかぎりなく だから はるなつあきふゆ あたらしいのち だいじにそだてて いこう そして よろこびかなしみ きみとわからあい しあわせきずいて いこう

JA 青年の歌 君と
遥かな青空 君と交わす 微笑みよ 翼ひろげ 飛び立つように この思い高まって 恐れることなく 世代を超える 君とともに 夢を求め 語り明かした 青春は限りなく
※だから 春夏秋冬 あたらしい生命 大事に育てていこう そして 喜び悲しみ 君とわかち合い 幸せ築いていこう
未来の果てまで 愛を唄う ゆりかごよ 風にそよぐ 緑の大地 すこやかに やすらかに 掛けることなく 生きていこう 君とともに 力強く かけがえない 青春はいつまでも
※だから 春夏秋冬 ありがとう込めて やさしさを伝えていこう そして いつかはこの日を 君と思い出す 輝く大地に立つて (※※印くりかえし)



JA 女性の歌



JA女性の歌 明日 輝くために

作詞:小田晴美
補作詞:森みゆき
作曲:菅原 進
編曲:藤沼健介

歌:森みゆき

明日 輝くために...
さわやかな 朝の光に包まれて 自然の命が 生まれている 緑の風と 戯れながら 育てる心に 微笑みのせて さあ 貴女らしく生きてゆこう 明日 輝くために
果てしない 夕焼けの空を見ていると あの日の思い出 よみがえる 母の温もりと 父の背中で 大きな愛を 伝えてくれた さあ 女性らしく生きてゆこう 明日 輝くために
しなやかに 心と心がかよい合い やさしく扉を 開いてく 貴女と出会えた この喜びが しあわせ色の 夢へと踊る さあ 私らしく生きてゆこう 明日 輝くために

Musical score for 'JA Women's Song: For Tomorrow to Shine'. Includes staves with lyrics: さわやかなあさの ひかりにつつまれてー しぜんのいのちがー うまれているー みどりのー かぜとー たわむれー ながら そだてる ところに ほほえみのせて さああなたらしく いきてゆこう あした かがやくたーめに

編集後記

JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュミズが設立されてから、10周年を迎えるに至りました。

この記念すべき年を迎えるにあたり、記念事業の一つとして、10年の活動の足跡を後世に記録として伝承するため、記念誌を発刊することと致しました。しかし、何分にも不慣れなため、まだまだ内容不十分な点多々あるかと思いますが、精一杯の努力と熱意をお汲みとりいただきたいと思います。

短期間で無理なお願いにもかかわらず執筆していただきました皆様方には、編集委員一同心から感謝申し上げます。

私たちは、この10年の歴史を再認識して、一層の団結と交流を深め今後益々組織の飛躍、発展を目指しますので、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本誌発刊にあたり、先輩諸氏・関係機関に多大なるご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます編集後記と致します。



実行委員会(兼編集委員会)

JAきたみらいフレッシュミズ

坂下 あゆみ
米森 こず恵
渡邊 美和

JAきたみらい青年部

米森 弘
須河 岐文
小山 勇樹

JAきたみらい女性部

斉藤 のり子
黒須 倫子
齊藤 晴美



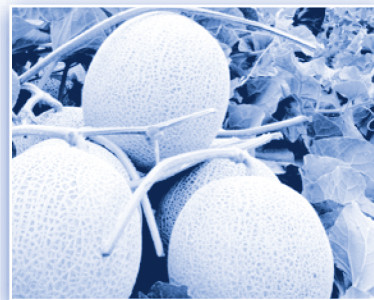
JAきたみらい外郭三組織 設立10周年記念誌

発行 平成26年12月

編集 JAきたみらい外郭三組織 設立10周年事業実行委員会

発行者 JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュミズ
北海道北見市中ノ島町1丁目1番8号
TEL.0157-32-8777

制作 株式会社 小林印刷



JA きたみらい
青年部

JA きたみらい
女性部

JA きたみらい
フレッシュミズ



JAきたみらい 外郭三組織 設立10周年記念誌